歴史と伝説

佐潟編

Cチーム

伝説



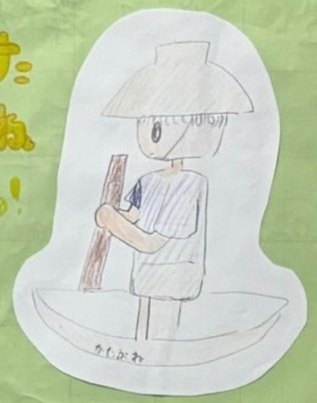


佐潟には、いろいろな伝説があります。昔海で海賊船がいきしており海賊船が埋まっていると言われています。



佐潟には、地域に語り継がれた伝説としてたくさんの伝説があります。光塚と言う場所には、純金でできた仏様があると言われています。上潟の近くに「光塚」と言う地名が残っています。赤塚小学校が全校で佐潟ウォークで実際に行って来ました。木がたくさんあって仏様が本当に埋まっているかわかりませんでした。

歴史

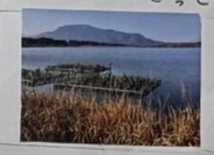


かたのみず

1996年に、76ヘクタールが日本で10番目にラムサール条約湿地に指定されました。

1998年に、佐潟に湿地センターが開設しました。

昔の佐潟は漁師の人がいて、魚をたくさんとっていました。

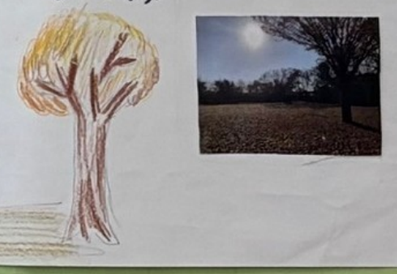


佐潟のハスの花は盆花として使われています。

佐潟の潟は学校帰りの子供たちが遊ぶ場所でした。



1500年前から1000年前の佐潟は新潟砂丘の形成と連動し、内陸側にできた湿地帯の一部として存在し、潟と湿原が広がる景観で河川からの流入が少ない湧水や雨水で維持される淡水湖でした。当時の人々は、この潟や周辺の豊かな湿地を利用し、漁場や水生生物の採取、そして後の水田開発の基盤となる土地として活用していたと考えられます。



まとめ

調べて分かったことは、佐潟には、生き物がたくさんいて自然ゆたかな場所ということがわかりました。

私たちは、これから、この佐潟の自然をまもっていきたいです。







佐潟の新聞のまとめでたんかを作りました。

かたの水
写す山なみ
山二つ
ハスの華咲く
朝のはじまり

白鳥が
つばさをうごかし
うつくしく
佐潟中を
色あざやかに

朝に咲く
ハスの華びら
美しく
自然あふれる
佐潟の空

見てください



白鳥→自然



2025年の11月には、約1700羽の白鳥が来ました。白鳥が来るわけ

※田んぼがレストラン（落ちもみ）

※雪が降ると友うど良い水になる

※越後平野は、自然環境が豊か。

新潟市は、日本一の白鳥が来る市町村 !?



参考引用文献
・新潟市ホームページ
https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/kankyo/hozen/shizenfureai/sakata/
Google
・潟のデジタル博物館
https://www.niigata-satokata.com/learn/sakata/
・湖沼ネットワーク様のお話
・赤塚小学校地域ボランティアの皆様によるお話